

平成19年11月26日

各 位

会社名 日本ガイシ株式会社
(登記社名 日本碍子株式会社)
代表者名 代表取締役社長 松下 雋
(コード番号 5333)
(東証・大証・名証各第1部、札証)
問合せ先 代表取締役専務執行役員 和田 洋
電話 052(872)7230

会社名 富士電機ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 伊藤 晴夫
(コード番号 6504)
(東証・大証・名証各第1部、福証)
問合せ先 広報室長 三吉 義忠
電話 03(5435)7206

富士電機水環境システムズ株式会社と株式会社NGK水環境システムズの 合併に関するお知らせ

平成19年2月22日付けの「水環境事業の統合について」において公表したとおり、富士電機ホールディングス株式会社(以下、FHCという。)と、日本ガイシ株式会社(以下、NGKという。)は、両社の水環境事業の統合に向けて互いに協議することに同日基本合意いたしました。基本合意以降、FHCと同社の事業子会社のひとつである富士電機システムズ株式会社(以下、FESという。)、NGKの3社で具体的な統合スキームについて、事業戦略と財務戦略の観点から検討を行った結果、FHCの連結子会社である富士電機水環境システムズ株式会社(以下、FWSという。)とNGKの連結子会社である株式会社NGK水環境システムズ(以下、NWSという。)が、平成20年4月1日をもって合併すること(以下、本件合併という。)について合意し、取締役会でそれぞれ決議の上、本日、合併契約書を締結しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 合併の目的

本件合併により発足する合併新会社は、安定的かつ安全な水環境の保全と、それに関わる資源・エネルギー問題の解決に向けて、最適ソリューションを追求する「水環境分野のリーディングカンパニー」を目指します。

具体的には、国内の上下水分野で、電気設備に特長を持つFWSと機械設備に特長を持つNWSの合併により、合併新会社が『機電統合会社』として、事業規模を拡大し、新製品や新技術の開発を強化するとともに、シナジー効果で水処理施設の省エネルギー化や省力化などを実現する次世代技術の開発を目指します。また、世界的な水不足を背景に、ニーズが高まっている再生水分野、海水淡水化など、民需及び海外への事業拡大もしてまいります。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

FHC合併契約書承認取締役会	平成19年11月15日
NGK合併契約書承認取締役会	平成19年11月26日
合併契約書締結	平成19年11月26日
FWS合併契約書承認株主総会	平成19年12月11日(予定)
NWS合併契約書承認株主総会	平成19年12月11日(予定)
合併の予定日(効力発生日)	平成20年4月1日(予定)

上記のスケジュールにつき手続き上やむをえない事情が発生した場合は、両社協議の上、変更することがあります。

(2) 合併の方式

合併手続上、NWSを吸収合併存続会社とし、FWSを吸収合併消滅会社として合併いたします。

(3) 合併比率

会社名	NWS(存続会社)	FWS(消滅会社)
合併比率	1	1

(注) 1. 株式の割当比率

FWSの普通株式1株に対して、NWSの普通株式1株を割当て交付いたします。

2. 合併により発行する新株式数等

普通株式 100,000株

なおNWSは、平成19年11月5日付の株式併合により発行済株式総数を10万株としているため、合併新会社に対するFESとNGKの出資比率は50%ずつとなり、いずれの子会社にもならない予定です。

(4) 合併比率の算定根拠等

① 算定の基礎及び経緯

FWS及びNWSは、本件合併の合併比率(以下、本件合併比率という。)について、その公平性と妥当性を期すため、FWSがみずほ証券株式会社(以下、みずほ証券という。)を、NWSが野村証券株式会社(以下、野村証券という。)をそれぞれファイナンシャル・アドバイザーに選定しました。

FWSは、みずほ証券による合併比率の算定結果を参考に、NWSは、野村証券による合併比率の算定結果を参考に、それぞれ両社の財務の状況、資産の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、両社が交渉・協議を行い本件合併比率を決定いたしました。

但し、本件合併比率は、算定の基礎となる諸条件に重大な変更が生じた場合は、両社協議の上、変更することがあります。

② 算定機関との関係

FWSの算定機関であるみずほ証券は、FWSの関連当事者には該当しません。

また、NWSの算定機関である野村証券は、NWSの関連当事者には該当しません。

(5) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 合併当事会社の概要

(平成 19 年 9 月 30 日現在)

(1) 商号	(株)NGK 水環境システムズ	富士電機水環境システムズ(株)
(2) 事業内容	上水・下水処理等の各種装置類の製造販売及び各種プラントの設計・施工・請負	水処理・水環境システム、施設用電気設備等、各種装置類の製造販売及び各種プラントの設計・施工・請負
(3) 設立年月日	1973 年 10 月 1 日	1990 年 9 月 28 日
(4) 本店所在地	名古屋市瑞穂区須田町 2 番 56 号	東京都品川区大崎一丁目 11 番 2 号
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 松木 晴雄	代表取締役社長 小牧 裕志
(6) 資本金	45 億円	30 億円
(7) 発行済株式総数	普通株式 300 千株	普通株式 100 千株
(8) 純資産	117 億円	27 億円
(9) 総資産	235 億円	212 億円
(10) 決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
(11) 従業員数	478 人	888 人
(12) 主要取引先	官公庁等	官公庁等
(13) 大株主及び持株比率	日本ガイシ(株) 100%	富士電機システムズ(株) 100%
(14) 主要取引銀行	(株)三菱東京 UFJ 銀行	(株)みずほコーポレート銀行他
(15) 当事会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	特記すべき取引はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(16) 最近3年間の業績

決算期	NWS(存続会社) (単体)			FWS(消滅会社) (単体)		
	H17/3 実績	H18/3 実績	H19/3 実績	H17/3 実績	H18/3 実績	H19/3 実績
売上高 (百万円)	6,176	6,828	6,878	634	865	794
営業利益 (百万円)	186	230	263	3	4	△12
経常利益 (百万円)	187	233	269	3	4	△17
当期純利益 (百万円)	105	123	152	2	△4	△8
1株当たり 当期純利益(円)	587	684	845	4,479	△6,859	△14,779
1株当たり 配当金(円)	111	111	111	0	0	0
1株当たり 純資産(円)	3,635	4,208	4,943	166,970	165,357	150,577

※ NWS(旧NGK・Eソリューション)は、平成19年4月1日を効力発生日とする吸収分割により水環境事業をNGKから承継しております。また、FWS(旧京葉エフ・ディ・ケー)は平成19年4月1日を効力発生日とする吸収分割により水環境事業をFESから承継しております。
上記の業績はNWS・FWSとも吸収分割以前のものとなります。

4. 合併後の状況

(1) 商号	メタウォーター株式会社(英文名:METAWATER Co., Ltd.)
(2) 事業内容	1. 上下水・再生水処理、海水淡水化等の水環境分野の各種装置類、施設用電気設備等の製造販売 2. 各種プラントの設計・施工・請負 3. 上記各号に関連する一切の事業
(3) 本店所在地	東京都港区虎ノ門四丁目3番1号
(4) 代表者の役職・氏名	取締役社長 松木 晴雄(予定) <現NWS代表取締役社長> 取締役副社長 小牧 裕志(予定) <現FWS代表取締役社長>
(5) 資本金	75億円
(6) 純資産	144億円(平成19年9月末現在の両社単純合計)
(7) 総資産	448億円(平成19年9月末現在の両社単純合計)
(8) 決算期	3月31日

(9) 会計処理の概要

本合併は、『企業結合会計基準』における「共同支配企業の形成」に該当し、現時点においては、その基準に沿った会計処理の適用が想定されております。

(10) 今後の見通し

本件合併後の事業見通し等につきましては、確定次第お知らせいたします。

以上